

平成 25 年 1 月 31 日



平成 22 年国勢調査 職業等基本集計結果の概要

平成 22 年国勢調査（H22.10.1 現在）の職業等基本集計結果（総務省、平成 24 年 11 月 16 日公表）をもとに、富山県分の概要を作成しましたのでお知らせします。

I 職業大分類別就業者

「職業大分類」は、就業者が調査期間中に実際に従事していた仕事の種類によって分類したものをいう。（これに対し、農業、製造業、卸売業、小売業等の「産業大分類」は、就業者が調査期間中に実際に仕事をしていた事業所の主な事業の種類によって分類したものをいう。たとえば、パンを作って直接販売している人は、産業大分類では「卸売業、小売業」に、職業大分類では「生産工程従事者」になる。）

個々の職業分類の詳しい定義や内容例示については、総務省統計局の『平成 22 年国勢調査に用いる職業分類』を参照いただきたい。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/users-g/pdf/syokugyo.pdf>

- ・ 全国と構成比を比較すると、「生産工程従事者」が高く、「事務従事者」や「販売従事者」が低い。
- ・ 構成比は、「専門的・技術的職業従事者」、「サービス職業従事者」が上昇し、「生産工程従事者」、「販売従事者」が低下。

富山県の就業者（15 歳以上）について職業大分類別にみると（表 1）、「生産工程従事者」が最も多く（114,219 人）、全体の 20.9%を占めている。次いで「事務従事者」が 17.2%、「専門的・技術的職業従事者」が 13.8%となっている。構成比を全国と比べると、「生産工程従事者」が 6.7 ポイント高く次いで「建設・採掘従事者」が 1.0 ポイント高い。一方、「事務従事者」が 1.2 ポイント、「販売従事者」が 1.0 ポイント低くなっている。

構成比を平成17年と比べると「専門的・技術的職業従事者」、次いで「サービス職業従事者」が上昇しており、全国と同様の傾向となっている。

産業分類との関係（別表1、2）をみると、H17→H22で伸びの大きい「医療、福祉」（8,069人の増加）が「専門的・技術的職業従事者」の41.3%、「サービス職業従事者」の31.9%を占めている。

一方、低下しているのは、全国と同様「生産工程従事者」、「販売従事者」などとなっている。

産業分類との関係（別表1、2）をみると、「生産工程従事者」は「製造業」が78.6%、「販売従事者」は、「卸売業、小売業」従事者が68.9%占め、これらの産業の構成比（H17→H22）は、「製造業」が24.3%→24.1%、「卸売業・小売業」が16.8%→15.8%となっている。

表1 職業大分類別就業者数(15歳以上)

(単位:人、%)

	富山県						全国	
	就業者数		H17～H22		構成比		構成比	
	H22	H17	増加数	増加率	H22	H17	H22	H17
総数	546,363	577,186	-30,823	-5.3	100.0	100.0	100.0	100.0
管理的職業従事者	13,229	14,085	-856	-6.1	2.4	2.4	2.4	2.4
専門的・技術的職業従事者	75,190	72,707	2,483	3.4	13.8	12.6	14.5	13.4
事務従事者	93,868	100,213	-6,345	-6.3	17.2	17.4	18.4	18.9
販売従事者	67,946	78,638	-10,692	-13.6	12.4	13.6	13.4	14.8
サービス職業従事者	59,853	56,999	2,854	5.0	11.0	9.9	11.5	11.1
保安職業従事者	7,242	7,102	140	2.0	1.3	1.2	1.8	1.7
農林漁業従事者	18,393	23,836	-5,443	-22.8	3.4	4.1	3.9	4.8
生産工程従事者	114,219	126,245	-12,026	-9.5	20.9	21.9	14.2	15.6
輸送・機械運転従事者	20,130	22,936	-2,806	-12.2	3.7	4.0	3.5	3.8
建設・採掘従事者	30,234	33,661	-3,427	-10.2	5.5	5.8	4.5	5.2
運搬・清掃・包装等従事者	35,603	37,340	-1,737	-4.7	6.5	6.5	6.2	6.3
分類不能の職業	10,456	3,424	7,032	205.4	1.9	0.6	5.7	1.8

(注1)H17は、H22年との時系列比較ができるように国が一部の調査票を抽出して集計した抽出詳細集計に基づいて推計、集計したもの。総数は基本集計の値と一致しない。

男女別では、男性は「生産工程従事者」、女性は「事務従事者」の構成比が最も高い。

男女別に職業大分類別の構成比をみると（表2）、全国と同様、男性は「生産工程従事者」、女性は「事務従事者」が最も高く、「生産工程従事者」の構成比自

体は、全国に比べ男女共にかなり高くなっている。

また、「専門的・技術的職業従事者」の構成比は、全国に比べ男性は低く女性が高い。「専門的・技術的職業従事者」を男女別にみると（表3）、全国では男性が多く、富山県では女性が多い。「専門的・技術的職業従事者」のうち、女性の医療・福祉従事者が全国では約4分の1となっているが、富山県では3分の1近くを占めている。

表2 職業大分類 男女構成比(富山県・全国) (単位: %)

	男		女	
	富山県	全国	富山県	全国
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
管理的職業従事者	3.8	3.6	0.7	0.8
専門的・技術的職業従事者	11.4	13.4	16.7	15.9
事務従事者	10.8	12.9	25.1	25.7
販売従事者	12.6	13.6	12.3	13.2
サービス職業従事者	5.3	6.5	18.0	18.1
保安職業従事者	2.3	2.9	0.2	0.2
農林漁業従事者	4.2	4.3	2.3	3.4
生産工程従事者	25.7	17.6	14.9	9.7
輸送・機械運転従事者	6.4	5.9	0.3	0.2
建設・採掘従事者	9.7	7.7	0.3	0.2
運搬・清掃・包装等従事者	5.8	5.7	7.4	6.9
分類不能の職業	1.9	5.8	1.9	5.6

表3 専門的・技術的職業従事者 平成22年(単位: 人、%)

	富山県		全国
	就業者数	構成比	構成比
総数	75190	100.0	100.0
男	34594	46.0	52.9
女	40596	54.0	47.1
医療、福祉	24535	32.6	26.3

Ⅱ 外国人就業者の職業

女性の「生産工程従事者」が多い。

外国人就業者数を職業大分類別にみると「生産工程従事者」が 57%（全国 32.5%）と最も多く、中でも、女性では6割を超え、女性の「生産工程従事者」は外国人就業者全体の 35.8%（全国 17.2%）となっている。

逆に「専門的・技術的職業従事者」「サービス職業従事者」、「事務従事者」の構成比は全国に比べ低くなっている。

表4 職業大分類別 外国人就業者（富山県 全国） 平成22年 (単位:人、%)

	就業者総数			男			女		
	富山県		全国	富山県		全国	富山県		全国
	就業者数	構成比	構成比	就業者数	構成比	構成比	就業者数	構成比	構成比
総数	6469	100.0	100.0	2746	100.0	100.0	3723	100.0	100.0
管理的職業従事者	81	1.3	2.2	66	2.4	3.3	15	0.4	1.1
専門的・技術的職業従事者	453	7.0	12.2	250	9.1	15.9	203	5.5	8.4
事務従事者	209	3.2	6.9	60	2.2	4.9	149	4.0	9.0
販売従事者	333	5.1	7.0	192	7.0	7.5	141	3.8	6.6
サービス職業従事者	557	8.6	12.2	148	5.4	8.8	409	11.0	15.7
保安職業従事者	2	0.0	0.2	1	0.0	0.3	1	0.0	0.0
農林漁業従事者	83	1.3	2.4	42	1.5	2.4	41	1.1	2.4
生産工程従事者	3689	57.0	32.5	1371	49.9	30.1	2318	62.3	34.9
輸送・機械運転従事者	68	1.1	1.7	65	2.4	3.2	3	0.1	0.1
建設・採掘従事者	260	4.0	2.6	249	9.1	4.9	11	0.3	0.2
運搬・清掃・包装等従事者	355	5.5	5.7	118	4.3	4.4	237	6.4	7.0
分類不能の職業	379	5.9	14.4	184	6.7	14.3	195	5.2	14.5

Ⅲ 親子の同居・非同居

親との同居割合は、全国に比べ 7.3 ポイント高い。

総人口に占める親との同居割合についてみると、男女総数では 43.0%で全国 (35.7%) に比べ、7.3 ポイント高い。

表5 親と同居している者の割合 平成22年
(単位: %)

	総数	男	女
富山県	43.0	46.9	39.4
全 国	35.7	38.1	33.4

年齢 5 歳階級ごとの親と同居している者の割合

未婚：20～24 歳で一旦低下し、30 歳代で再び高くなっている。17 年との比較では、30 歳代以上の年齢階級で上昇。

有配偶：17 年と比較すると、50 歳代以上で上昇しそれ以下では低下。

男女、未婚・有配偶別に年齢5歳階級ごとに全国と比較すると（図1）、有配偶の男性15～19歳を除き、すべての区分で全国よりも高い割合となっている。

未婚の者は、男女共に全国では年齢が上がるにつれて同居割合が低くなっているが、富山県では20～24歳で一旦低くなった後、女性では25～29歳、男性では30～34歳にかけて高くなっている。

平成17年との比較では（図2）、未婚の者は、男性では30～34歳以上、女性では35～39歳以上の各年齢階級で上昇している。

有配偶の者は、女性では50～54歳以上の年齢階級で上昇し、それ以下の年齢階級では、15～19歳を除き低下している。男性では55～59歳以上の年齢階級で上昇し、それ以下の年齢階級では低下している。

図1 全国との比較

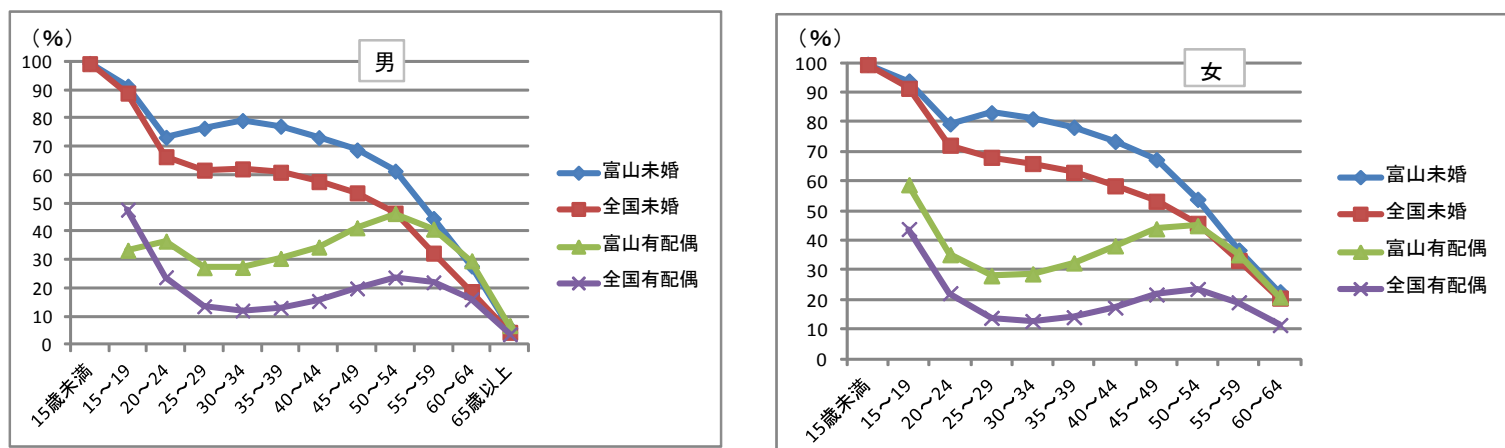


図2 平成17年との比較

